

## 特産品

### 再度問う黒潮印

22年度産業推進室で対応／町長



議員 坂本 あや

合振興計画のシンボルプロジェクトとして、これから10年の間に町のブランド商品を確認する計画だが、具体的にまだ取り組んでいない。県アンテナショップへは町から12品目の推薦を行っている。

22年度には産業推進室（以下推進室）を設置し、商品開発を進めている雇用促進協議会（以下促進協）の成果とも調整を取り同協議会と協力し進める。

## 問

高知県の産業振興計画と町の産業振興計画がどのように結びついていくのか。特に黒潮印は町の特産品を全国に発信していく大切な事業である。先の議会で取り組んでいくと聞いた。再度この事業をどう進めてきたか問う。

## 答

下村町長

松田産業振興課長

黒潮印は、2008年の総



## 産業振興

推進室業務  
内容は

雇用促進協議会と連携して／町長

## 問

推進室の業務は多機能な部分がある。観光振興、特産品の開発、黒潮印、商工業の推進、また、雇用対策の事業も推進室の商工観光の係がやるという。21年度黒潮印の認定等も充分に出来なかったというのに室になったらできるのか。室の業務で何を一番大事にして行くのか。

## 答

下村町長

従来それぞれの課で業務をしながらでは、なかなか思うように前へ進まなかった部分を推進室を設置し推進する。行政組織機構改革検討委員会の中でも協議しこの室の設置には期待してもらっている。

## 雇用促進協議会

どうなる  
促進協議会

成果を町が引き継ぐ／町長

## 問

6年間促進協議会は継続した。町長は、推進室は、促進協と全面的に連携を取りながら事業を進めるとの答弁だが、推進室は今年でき、促進協は今年で終わる。どう連携するつもりか。

## 答

下村町長

促進協を町がお金を出して継続して行くことは出来ない。どういう形で引き継いでいくか、事業が終わった段階で成果を検証して、23年度から、どのようなものをどういう形で引き継いでいくのか 検討する。

## 交流施設

浜の施設道の整備を

関係機関に断られた／町長

## 問

入野の浜の元縫製工場が改修された。産業振興のために修理したと思うが、ここは、建物は見えても進入路が分かりにくい。整備が必要ではないか。関係機関に断られたそうだが、出来るまで要望を続けて欲しい。

## 答

下村町長

松田産業振興課長

体験交流できる観光施設として活用したい。道の整備は万行地区からも要望があり、四万十森林管理署に要望したが許可がもらえない状況。